



四日市市立西朝明中学校

令和7年度 第1号
令和7年 4月8日(火)

にしあさけ

入学・進級 おめでとうございます。

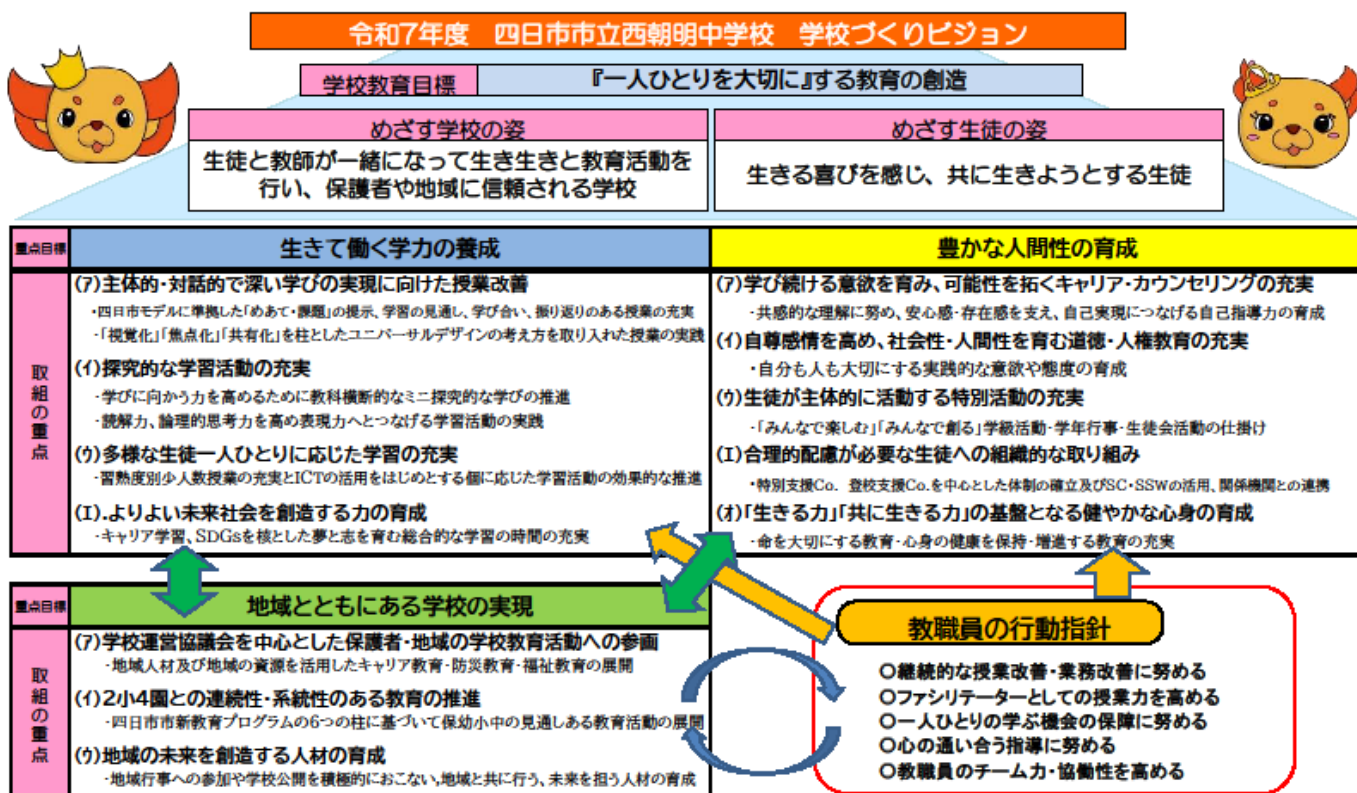
令和7年度がスタートしました！

西朝明中学校の令和7年のスタートは正門横にある満開の桜に迎えらる素晴らしい始業式・入学式となりました。

新しくスタートをきる子どもたちにふさわしい、素晴らしい季節がやってきました。保護者・地域の皆様には、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。



新入学生118名の1年生を迎え、2年生に進級した98名、3年生に進級した104名の計320名の生徒と共に、新たに着任した12人を加えた職員も一緒に、本年度も生徒たちとともに『一人ひとりを大切に』する教育の創造をめざし、保護者、地域の皆様とともに、地域とともにある学校として、教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



♡「心」・「誠」・「愛」♡

始業式・入学式の式辞として校内の記念碑に刻まれている「心」「愛」「誠」の言葉にふれて話をしました。
以下はその一部を掲載します。



「心」こころはシンとも読みます。「ものの根本」という意味もあり、本当の自分自身のことだとも読み解けます。中学校を卒業するということは、義務教育を修了するということです。それぞれの進路を切り開く力を身に着けるために、今の自分を見つめ、未来の自分を想像し、自分の可能性を広げていきましょう。

「愛」は仲間を理解し、相手を思いやる気持ちです。学校には共に歩む仲間がいます。太宰治の「走れメロス」の一節にこういう言葉があります。「信頼に報いなければならぬ」。私は仲間を思い、仲間から思われた私はその思いにこたえる。お互いがお互いのことを尊重し、支えあい、高めあえる仲間となっていきたい。



「誠」は嘘偽りのない姿のことです。「お天道様が見ている」という言葉があります。お天道様とは太陽のことです。太陽は地上の全てを照らし、誰も見ていないつもりでも、必ずあなたのことを見ている人がいるという意味です。失敗した時にも素直に反省し、次につなげる気持ちを持ちましょう。

また、校長の座右の銘である「徳は弧ならず、必ず隣あり」に触れ、真摯に物事に取り組む大切さと、困難に出会った時の考え方について伝えました。

記念碑は西朝明で学ぶ子どもたちが「自分も他人も大切に（愛）、自ら考えて行動でき（心）、その結果に対して責任の持てる（誠）、素敵な大人」に成長していくように、校庭の片隅から見守っているように感じます。

■「保護者の皆様へ」■

西朝明中学校での生徒の皆さんの生活や学習の様子について、できる限り毎日、西朝明中学校のホームページで上げさせていただいています。本年度もたくさん発信をしていく予定ですので、日頃はホームページをご覧いただき、お子さまの様子をご覧いただきたいと考えております。また今年度も学校公開日として授業の様子を参観いただいたり、体育祭・文化祭等の行事で活躍する姿を見ていただいたりする機会を設ける予定です。ただし、本校は駐車場が狭く、グラウンドも降雨時は車が侵入できる状況ではありません。令和7年度も学校公開日等の際には、徒歩または二輪車でのお越しにご協力ください。